

新春のつどい 【報告】

令和6年1月28日(日) 13:00～ 会場 ロイヤルホールヨコハマ

= 新春のつどい = 次第

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 開会のことば | 6 若手会員紹介 |
| 2 新年のあいさつ 会長 | 7 支部紹介 |
| 3 お祝いのことば | 8 お年玉抽選会 |
| 4 来賓ご紹介 | 9 令和6年度友松会総会の案内 半島ブロック |
| 5 乾杯 | 10 師範学校校歌、学生歌(みはるかす) |
| 〈懇談〉 | 11 閉会のことば |

新年のあいさつ(小島会長) (要旨)

4年ぶりの新春のつどいの開催にあたりまして、副学長高木まさき先生、教育学部長木村昌彦先生、校友会会長宮田芳文様をはじめ多くのご来賓の皆様、そして本日100名を超える会員の皆様にご参会頂き開催できることを心より御礼申し上げます。

この新春のつどいですが、新年を迎え新旧の同窓生が一堂に集い語り合い親睦の絆を深めていく、友松会の発展のためには欠かすことのできない大切な会であると捉えています。

2つの視点からお話しさせていただきます。

1つ目は6月の総会でもお願いしましたが、本年令和6年は、母校である横浜国立大学が創基150周年、開学75周年の年にあたります。大学では記念事業を計画しそのための寄付を募っております。150周年の今年こそ、友松会としても大いに協力したいと考えていますので、改めまして皆様のご協力をお願いします。

2つ目は横国Day。ホームカミングデーとも呼ばれていますが、その日に友松会では「豊かな教育を語る会」の開催を予定しています。今年、同窓会会員、現役の学生が教育への願いや想いを語り合うパネルディスカッションの計画を研修部が中心となって進めています。これに伴いまして、皆様の多くの参加を期待しております。学校のそして支部や同期の仲間達を是非お誘い合わせの上、久しぶりに常盤台の地に足を向けていただけたらと思います。

さて、新年を迎えて、友松会役員一同、今年も友松会の活性化のために頑張ろうと心を新たにしている所です。是非皆様の温かいご支援と励ましをお願いします。



小島会長

最後に創基150周年を迎える母校横浜国大と友松会の発展、そして本日新春のつどいにお集まりの皆様をはじめすべての会員の皆様の今年一年間がよい年となりますよう祈念して、ご挨拶いたします。

お祝いのことば ご来賓代表

横浜国立大学副学長高木まさき様・校友会会長宮田芳文様より来賓代表祝辞をいただきました。「大学は頑張っていて調査によると人事部の担当者の評価が高い学生では関東で1位、全国で2位ぐらい」「課題は、優秀なのに先生にならない学生が多い」や創基150周年、開学75周年事業で「『みはるかす』の記念碑をつくる」「常盤台遺跡についてのシンポジウムを開く」、また校友会でも周年記念事業についていろいろな企画をしているというお話がありました。



高木副学長



宮田校友会会長

乾杯(ご挨拶とご発声) (要旨)

横浜国立大学教育学部長

友松会名誉会長 木村 昌彦 様

学部長になって新春のつどいに立つのは、今日が最初で最後です。(注：任期中、コロナ禍で開催されなかったため)



木村教育学部長

学長から横浜国大を「総合大学で日本一の教育学部にしたい」と言われました。かつて歴代

の学長からも聞いたこともあります。しかし、そこにはいろいろなハードルがあります。短期的な経済効果は期待できませんが、将来の日本の長期的な経済効果を支える力となることができます。

今教育は全国的に厳しいです。ここをしっかりとやっていかないとダメです。横浜国大が総合大学という強みをどう生かすか。「我が学部は～」とか「我が研究科は～」とか言っている時代ではありません。これから全学部の知恵と頑張り、友松会のサポートで進めて行きたいと考えています。

《 懇 親 会 》

若手教員紹介、支部紹介、お年玉抽選会で盛り上がりました。楽しい歓談の後は、校歌・学生歌の大合唱で、4年ぶりの和やかで楽しい会となりました。



若手教員紹介



学長賞



校歌・学生歌斉唱



教育学部長賞



会長賞

